

ハワイには何度も出掛けているが、今回は体調が万全でないことも考慮し、船旅にしてみた。船の名前はプライドオブアメリカ号 (Pride of America)。

ホノルル港（オアフ）を起点に、二日目にはマウイ島、カフルイでの世界最大級の休火山（標高3696）ハレアカラ噴火口見学ツアーに参加した。展望台からは火口内が一望でき、高山植物銀剣草（シルバースウオード）の群生地が見られます。この日は運よく、快晴でハワイ島やオアフ島までも望めた。四日目夕方にヒロ（ハワイ島）を出航してコナに向かうと、途中キラウエア火山シーニッククルーズを体験できる。夜九時半頃キラウエア火山を通過し、部屋から水蒸気を上げながら海に流れる溶岩が展望できた。

クルーズ七日目、カウアイ島・ナウイリウリを出ると、デッキからはハワイの絶景「ナパリコースト」が楽しめる。この海岸は、「地上の楽園」として紹介され、切り立った断崖、海辺の洞窟、連なるビーチが全長約25キロもある。道路が無いので船か空からしか景観を見ることができない。悪天候で雲がかかって何も見えなかったのが、運良く突然晴れて景色を堪能できた。さすが今回のクルーズのハイライトだけのことはある。

これだけの島々を一週間で効率的に廻れるのはクルーズでしか出来ないだろう。ハワイ島巡りでは一番豪華で、一番安上がりする方法だと思う。船上では楽しみが盛り沢山。妻はタオルでアニマルを折る講習会に参加。自分も最低限、ブルドッグくらいはと思ったのだが失敗。スタツフは猿、ワニ、ダック、蛇、等等・・・何でもリクエストで作っていた。思わず拍手をしてしまった。

幼児・子供にも、老人にも、更にはゴルフ好きにも楽しめるような色々なイベントやエクスカージョンが組まれている。毎夜のショー、カジノでのお遊びはクルーズ初心者にはありがたい楽しみだ。家族を船に任せて自分だけゴルフに出掛けた男性も数多くいたようだ。自分自身は伊集院静氏の著書「夢のゴルフコースへハワイ編」に載っている多くの名コースを目前にしながらただ指を揃えていたのが心残り！でも今回は持参した本を随分と読むことができた。評判になった、浅田次郎著「ハッピーリタイアメント」は仕事を終えた自分に擬えて参考書にしようと考えたのに・・・でもエンターテインメントとして読めば満足満足。

景気回復と言うより下降が収まった感がありますが、まだまだ遣り繰りが大変です。でも皆様との絆さえしっかりとしていれば、乗り越えられるものと確信しています。ぜひ、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

株式会社ジエイアンドユー

取締役社長兼CEO 大井建男

※ワインのエチケッタデザインは富士山麓在住の「オマ

タ タツロウ（笛奏者）」さんです。